【ご挨拶】

皆様こんにちは。
学校長　遠藤でございます。
日頃より、教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。今年度も、早くも、学年末を迎えようとしています。

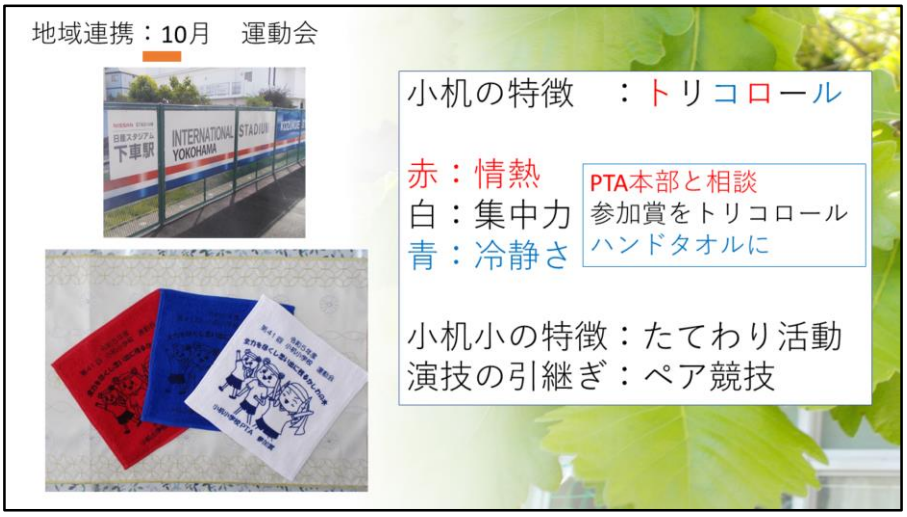
２月に行われた第４回学校運営協議会資料とした本スライド資料をもちまして、令和５年度の学校運営報告とさせていただきます。

【柏の葉に寄せて】

小机城　代々の城主である笠原家の紋所の３つ柏
本校の校章も、三つ柏。
この小机城の歴史的な重みを大切にし、秋枯れの葉は次の新芽の成長を見届けて散るという縁起の良い葉であることを含め、知・徳・体の、子どもたちの健全で望ましい人間形成を願って、本校　初代校長が考案した校章と知りました。

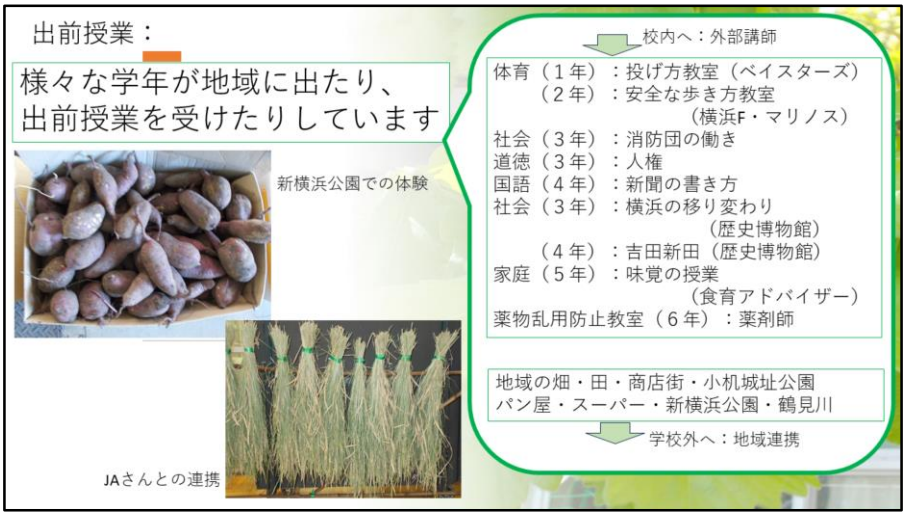
柏の葉同様に、これまでの小机小の歴史と伝統の継承をしながらも、日産スタジアムで行われたラグビーワールドカップ決勝でのトライ精神をもちつつ、新たな学校生活の創造に全職員で取り組んできた１年間だったと思っています。

皆様からいただきました学校評価や、学校運営協議会委員の皆様からの御意見を真摯に受け止め、今後の学校生活に生かしていきたいと思います。



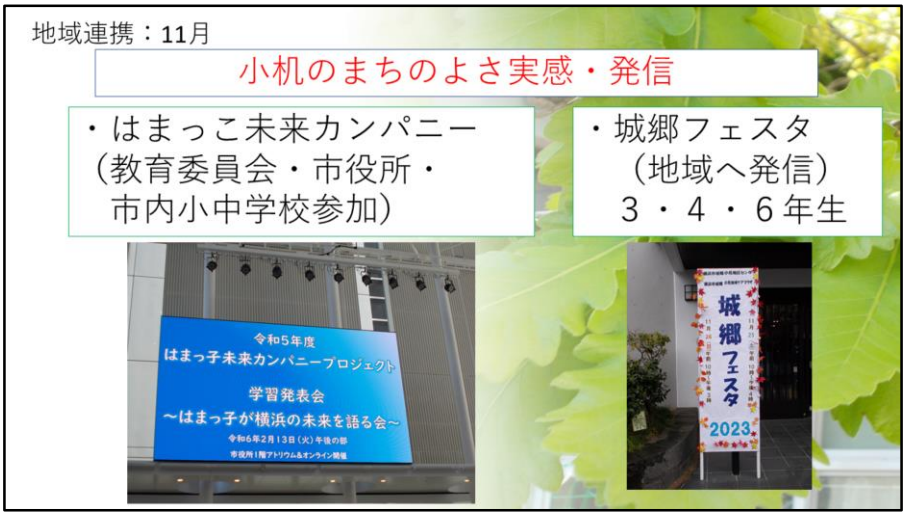
【運動会　小机の象徴　トリコロール】

運動会では、小机駅に示されているトリコロールを取り入れました。PTAの皆様にご理解とご協力をいただきまして、記念品タオルにもこの3色を反映していただきました。次年度からは、１組を赤、２組を白、３組を青と、クラスカラーをトリコロールにしていきたいと思います。



【出前授業や地域連携】

今年度は、アフターコロナとして外部講師をお呼びしたり、外に出かけることも増えました。
インフルエンザ等の感染対策は継続していますが、たくさんの体験を通した学びを積み上げることができたことは、ありがたいことでした。人と出会って、人の生き方に学ぶことができた貴重な経験となりました。



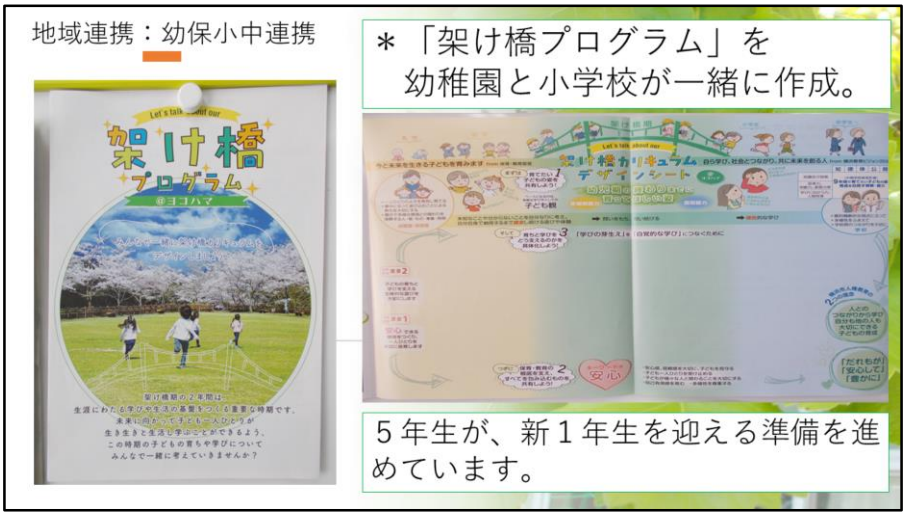
【発表の機会】

取組の発信の機会も多くいただきました。
はまっこ未来カンパニーでは、竹中市長も３年生の発表を聴いてくださいました。城郷フェスタでは、多くの保護者・地域の方に聞いていただき、子ども達も満足感を得ることができたように思います。

【竹灯篭まつり】

11月に行われた竹灯篭まつりでは、これまでは、いただいた竹に絵を描いて終わっていたということを聞いて、４年生がドリルで竹に穴をあけて本格的に竹灯篭作りに臨んでみたいという夢をもちました。
夢の実現には、地道な作業や協力関係が必要となりますが、子ども達の夢の実現に至る作業を地域の方にお手伝いいただいたお陰で、安全に仕上げていくことができました。
これまでとは異なる竹灯篭の仕上がりに、次年度への展開も期待が膨らみます。

夢や希望をもつことができるのも、夢や希望が実現できるのも、子ども達に手を貸してくださる地域の方がいてくださってこそです。感謝申し上げます。



【幼保小中連携】

幼保小中連携も進めました。
幼保園とは、架け橋プログラムを一緒に作成したり、５年生が来年の最上級生として１年生を迎える準備を行ったりしました。

中学校とは、部活動見学をさせていただいたり、個別級の合同交流会をもたせてもらったりと、何かと連絡を取り合ったりすることができてありがたく思います。これまで以上に、顔が見える関係性になれたことは安心です。

【和平小との交流】

本校は、中国北京市にある和平小学校と連携していることはご存知でしょうか。
今年度は、秋の和平小ウイークの給食と５年生のオンライン交流を中心としました。

【総合的な学習の時間の展開（３年生）】

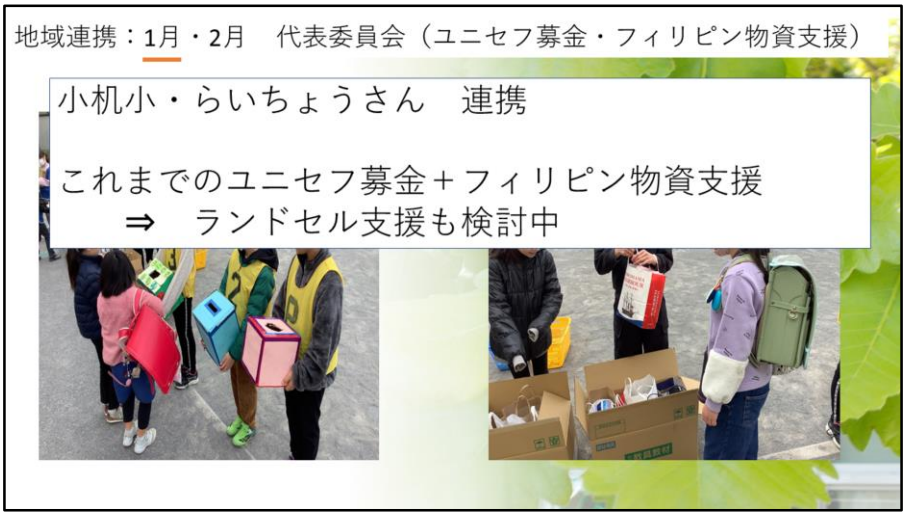
改めて、こどもたちが「小机」にこだわったパンを提案し、商品化されました。
お城パン、竹灯篭パン、小机提灯パン、サクラソウデニッシュ等「見て楽しい、食べておいしい、子どもに人気、小机らしさがよくわかるもの」という「ときわや」さんからのミッションに応えたものでした。
店主の常盤さんは、「子どもの発想はすごい。つくってみたくなる。」と今後の連携にも協力的です。

【新聞での発信】

タウンニュースを中心に、ネット配信の新横浜新聞、読売新聞（全国版・ネット版）でも取組を取り上げてくださいました。
「ときわや」さんには、「新聞記事を見た」と言って買いに来てくださる方がいたり、「読売新聞を読んだ」と、福岡県の方からエールが届いたりして、嬉しく思います。
子ども達の励みにもなりますので、広く情報発信をしていく方法を考えていきたいと思います。

【サクラソウプロジェクト（３年生）】

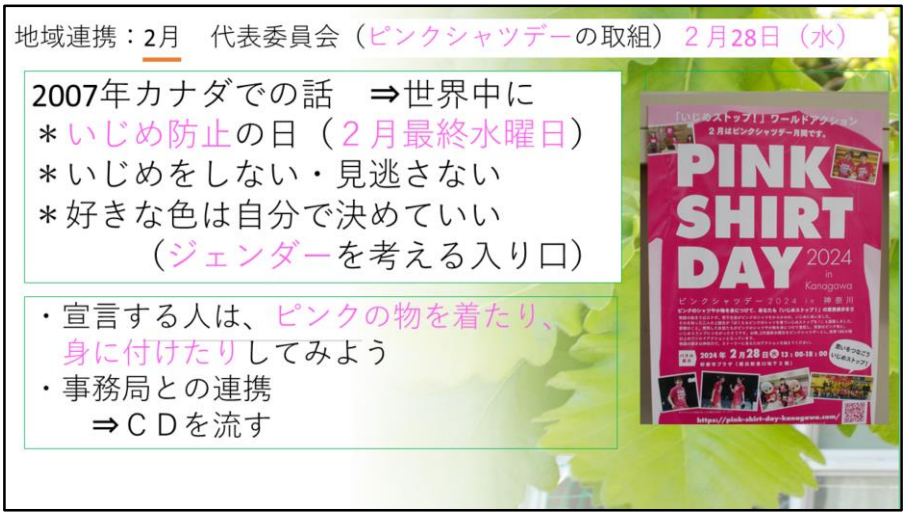
新横浜公園と連携を取らせていただきました。できれば「幻」と言われる　サクラソウ「小机」の株を増やしていきたいと考えています。



【福祉事務所　雷鳥（らいちょう）さんとフィリピン物資支援】

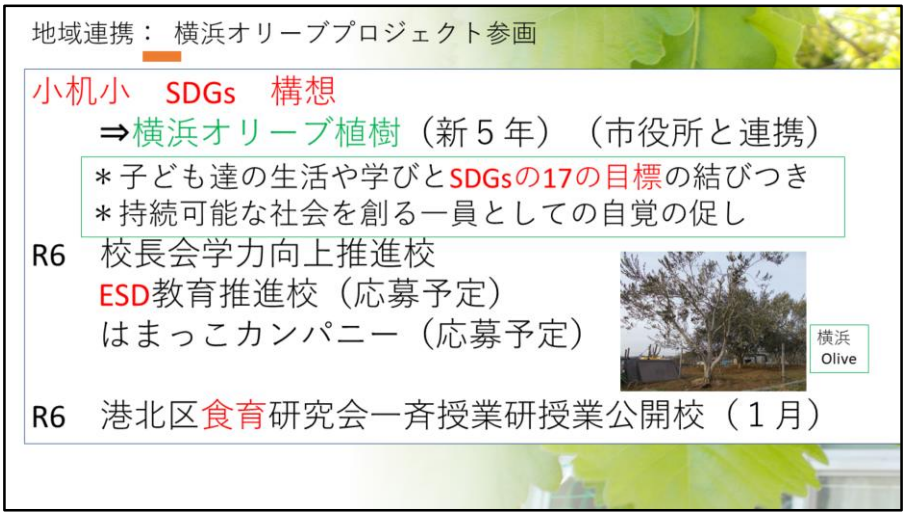
昨年度までは、ユニセフ募金だけだったと聞いていますが、
特定非営利活動法人「雷鳥（らいちょう）」さんとの繋がりで、フィリピンへの文具と上履き・長袖の洋服支援を行いました。コ子ども達は、使っている途中でもよい、ということを知り、多くの文具物資支援に協力をしてくれました。

らいちょうの理事長　手島さんが、実際フィリピンの子ども達に手渡してきてくださいました。
世界の子ども達への物資支援が自分でもできる、と言う実感と、世界の子ども達が置かれている状況に目を向けるような、SDGsの目標に照らし合わせて、視野を広く持つ機会になればと思います。



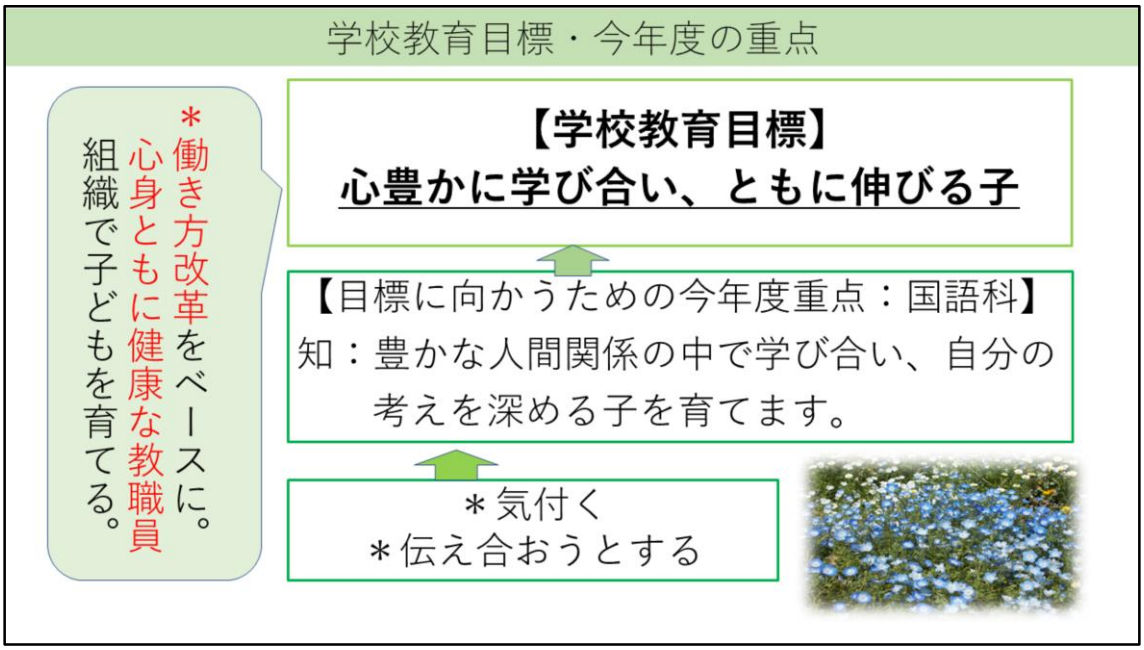
【ピンクシャツデーの取組】

２月の最終水曜日はピンクシャツデーです。
カナダであった実際の話がきっかけになっています。いじめをしない、見逃さないという宣言をする行動の一つとして、ピンクの物を身に付けたり、シャツを着たりするのはどうかと、集会委員の児童が全校に呼びかけています。好きな色は、自分で選んでもよい、と言うジェンダーの視点も入っています。



【次年度の構想】

様々な活動を通してSDGsにも目や意識を向けられるようになってきました。
次年度は、引き続き、異学年の縦交流を大切にしながら相手を思いやる心を育てつつ、その学年にしかできない事象と向き合い、答えのない問いに向かって考える姿勢や態度を育てていきたいと思っています。
また、それらを発信する機会も得ていきますので、保護者・地域の皆さまには子ども達の取組や学びの成果を引き続きお伝えしていきたいと思っています。



【学校教育目標】

学校教育目標は、スライドの通りです。
今年度は、互いの思いや考えを「聞こうとする」「伝え合おうとする」ところから協働して学ぶ良さを実感していけるようにしたいと指導してきました。

教員がしっかり子ども達に向き合うためにも、教員がまず心身ともに健康であることが必要です。学校が引き受けてきた指導の内容を、家庭教育、学校教育、また地域での育みとすみ分けていくことも不可避だと考えます。

地域行事参加・おやじの会畑作業・マーチング 鍵開け等と働き方改革

＊働き方改革をベースに。
心身ともに健康な教職員
組織で子どもを育てる。

勤務時間　平日８：１５～１６：４５
これ以外の勤務に要する時間は、時間外勤務

【横浜市第４期教育振興基本計画での目標】
＊時間外勤務80時間超えの教職員数：０人
＊19時までに退勤する教職員の割合：７０％

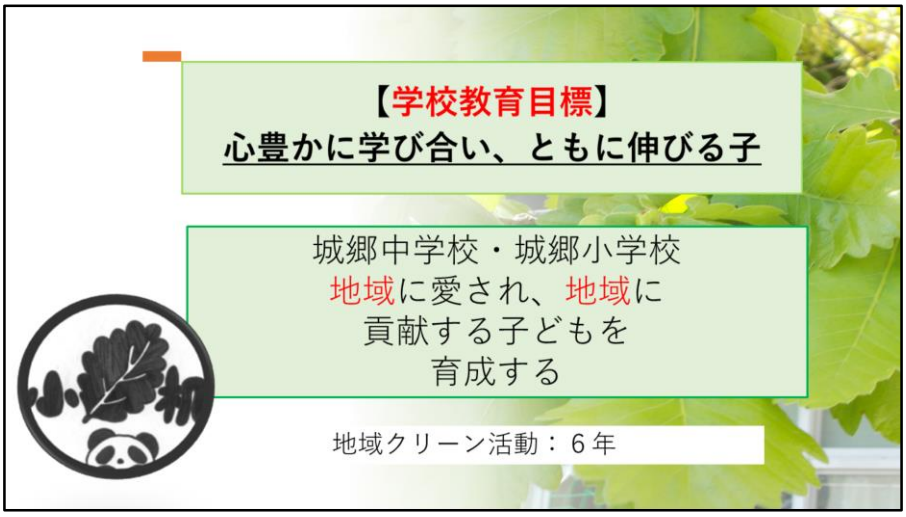
小机小の実態把握と働き方改革へのご理解を

土曜日・日曜日の出勤（地域行事参加・おやじの会畑作業・マーチングの鍵開け当番 等）は、時間外勤務となるため、職員の参加は、輪番制を取らせていただいています。

【働き方改革】

私たち教育公務員の勤務時間は、８時15分から16時45分です。
７時間以上の勤務で45分の休憩を取らなくてはなりません。学校教育目標実現のためにも、働き方改革は必須です。
横浜市の第４期教育振興基本計画にあるように、時間外勤務の状況を改善していくためには、保護者・地域の方のご理解とご協力が不可欠です。

心身ともに健康な状態で、子ども達と向き合っていきたいと思います。



【中学校ブロックとして】

スライドにある中学校ブロックとしての目標を、今後も１中２小連携で目指していきます。

【今後に向けて】

何らかの事情や背景で、集団生活に不安感が強い子、感情コントロールができずに手足が出る子、言葉でうまく自己表現できない子、などが見られます。
また、学力・学習状況調査資料からも、学習の基礎・基本の定着にも難しさが見て取れます。

授業では、いかに「聞きたくなるか」「したくなるか」の仕掛けをして、「わかる」「できる」「考える」本質の喜びを感じていけるように授業改善をしていきます。

生活面においては、ご家族と一緒に困ったり悩んだりしながら、自立した健全な社会人に子どもたちを育てていけるようにしたいと思っています。

粘り強く繰り返しの基礎・基本指導が必要だと思っています。

次年度も引き続き、学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。